

～ 総括 ～

第41回全国ネッカリッチ研修会では、「循環型農業を阻害する内外の要因－硝酸態窒素・リグニン・C/N比・土壌コロイド－」をテーマに、木質資材である「ウットンファイバー」、「ウットンバイオスター」、「サンネッカE」の活用が、これら生産性阻害要因の改善に有効である事について数々の実証報告が行われた。

実証報告では、「ウットンファイバー」、「ウットンバイオスター」、「サンネッカE」の土壌への活用により、土壌コロイドが形成され、通気性、透水性、保水性が向上し、作物生育にとって健全な土壌環境・土壌微生物が形成される事、また、堆肥への活用においては、作物生育にとって最適なC(炭素量)/N(窒素量)比となる事が示された。さらに、「ウットンファイバー」、「ウットンバイオスター」、「サンネッカE」の活用により作物生育にとって健全な土壌環境を形成し、農産物を生産する事で作物の硝酸態窒素が農産物に求められる世界的安全基準(グローバル(EU)基準)をクリアできる事も示された。

今後、世界と戦える農産物の生産という観点から、「ウットンファイバー」、「ウットンバイオスター」、「サンネッカE」などの有機資源を活用・循環させ、農産物を生産する農業(循環型農業)の普及が望まれる。

大阪府立大学 大学院生命環境科学
研究科 教授 獣医学博士 渡来 仁